

ヘルパンギーナ

のどの奥にブツブツ発疹ができて痛い病気です。高熱も出ます。

原因

コクサッキーA 群というエンテロウイルス属のウイルスが主な原因です。エンテロ 71 も原因の一つです。

飛沫感染、接触感染、経口（糞口）感染で夏季に流行する夏カゼのひとつです。

症状

潜伏期は2～4日で乳幼児に好発します。90%が5歳以下で見られます。

口蓋垂（のどちんこ）の両側に数個の発疹ができます。発熱は急な高熱で、1～4日程度で解熱し、発疹もやや遅れて消えていきます。

発熱時に熱性けいれんを起こしたり、口の中が痛くて哺乳力が落ちてしまうこともあります。

治療

基本的に治療は必要ありません。口の中の痛みのため哺乳できなくなってしまうこともあり、脱水が疑われるときは点滴が必要になります。

登園、登校

解熱して元気であれば登園、登校できます。

便中へのウイルス排泄は数週間続きますし、不顕性感染（感染しても発症しなかった人）でもウイルス排泄があるので出席停止にしても流行阻止は期待できないからです。